

モンゴル国「子どもに優しい幼稚園推進」プロジェクト



2・3歳児教室の様子。急激な都市の人口増加に幼稚園の増設が追いつかず、ほとんどの幼稚園が国の規定の2倍以上の園児を受け入れている。



つま先立ちをしながら洗面台で手を洗う子ども。
園児にとって使いやすいデザインになっていない洗面台も多い。



お絵かきをする子どもたち。
机が不足し、4人用の机を7人で使用しており、子どもたちは十分に書くスペースがない。



運動をする子どもたち。
体育館、または空き部屋のある幼稚園は少なく、体育の授業も教室で行われる。
教室はたくさんの園児であふれ、十分に体を動かすスペースが確保されていない。

モンゴル国「子どもに優しい幼稚園推進」プロジェクト



昼寝をする子どもたち。
簡易ベッドも十分なスペースもなく、教室の床いっぱいに布団を敷き並べ寝ている。布団の数が不足し、2人の子どもで1つの布団を分け合っている幼稚園もある。



迎えに来た保護者が待つ待合室。冬の寒さが厳しいモンゴルでは、開園時間まで外で待つということは大変困難で、このような待合室はどこの幼稚園でも設置されている。しかし、保護者用のイスも掲示板もなく、殺風景である幼稚園も少なくない。



老朽化の進んだ遊具と、手入れのされていない園庭。



1970年代に立てられた幼稚園のトイレの様子。老朽化し、排水設備も整っていない。また、1教室40人から50人の園児に、2から3つのトイレが設置されている幼稚園がほとんどで、子ども数に対しての数も不十分である。そのため多くの幼稚園では、バケツやおまるで補っている。